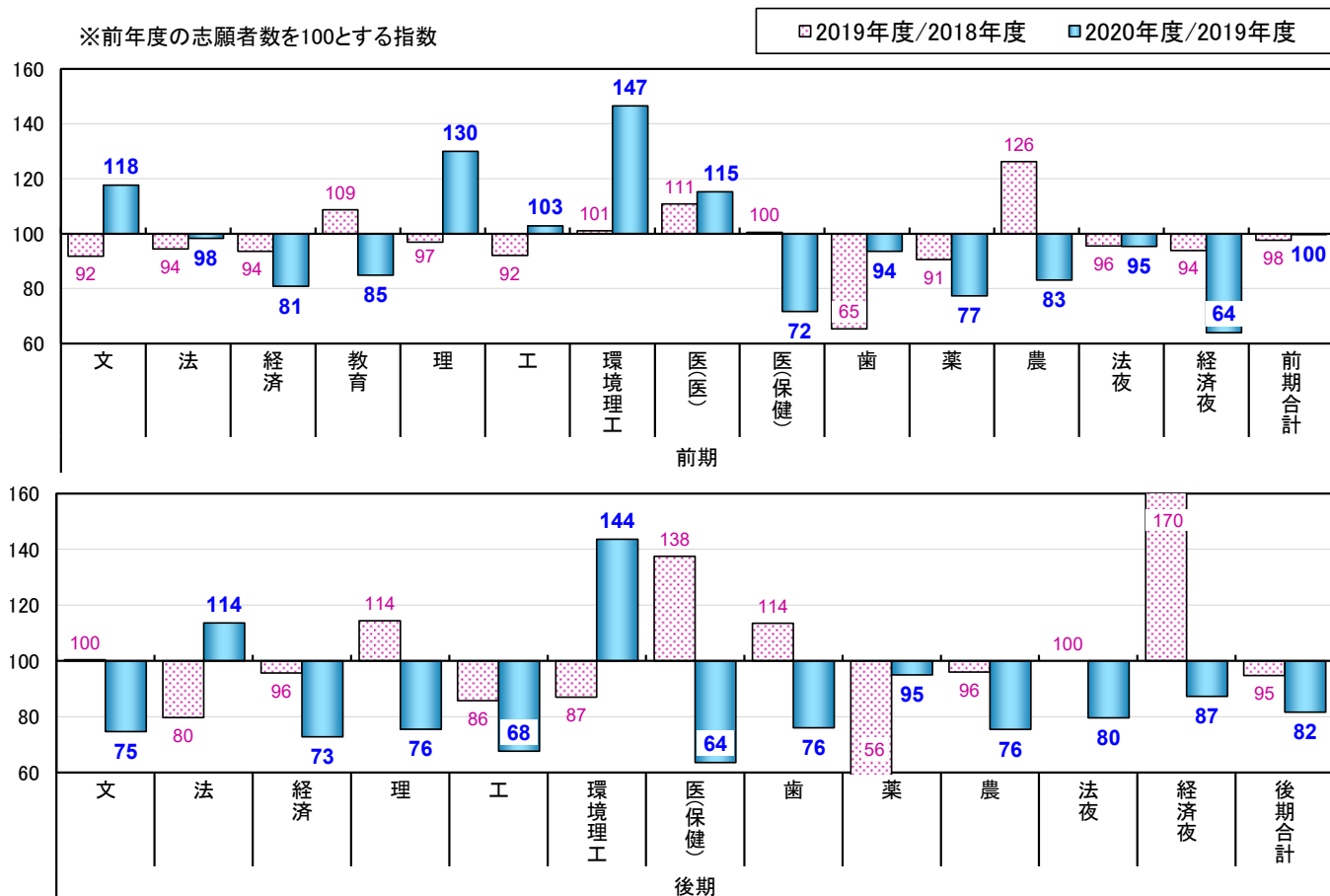


2020年度入試状況分析【国公立大】

岡山大：前期は微減、後期は大幅減少

前期：-10人 後期：-302人



入試変更点 個別試験：教育(養護教諭養成)〈前〉…小論文 300点→400点
 工(電気通信系)〈後〉…面接(口述試験含む) 600点→400点
 募集人員：環境理工(環境物質工)〈前〉…31人→30人、環境理工(環境管理工)〈後〉…8人→9人

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は10人(100)の微減で前年度並、学部別で増加したのは文、理、環境理工の3学部のみ。後期は302人(82)の大幅減少、学部別で増加したのは、法、環境理工の2学部のみ。

〈前期日程〉

- 文(118)は、前年度減少の反動で大幅増加。
- 法(98)は、微減だが2年連続減少。
- 経済(81)は、系統への人気低下により、大幅減少で3年連続減少。
- 教育(85)は、前年度3年ぶりに増加したが、今年度は大幅減少で、志願倍率は2.4倍→2.0倍にダウン。課程・コース・教科別では、(学校教育/中学(文系)) (200)は倍増、(養護教諭養成) (133)は大幅増加したが、一方で減少した3つの課程・コース・教科の(学校教育/特別支援教育) (43)、(学校教育/中学(実技)) (56)、(学校教育(小学校)) (77)はいずれも大幅減少。
- 理(130)は、大幅増加。学科別では、増加した3学科の(数学) (187)、(生物) (157)、(化学) (144)はいずれも大幅増加。
- 工(103)は、やや増加。学科別では、(電気通信系) (119)、(情報系) (115)は大幅増加、一方で(機械システム系) (81)は大幅減少。
- 環境理工(147)は、大幅増加。学科別では、(環境物質工) (224)は倍増以上、(環境管理工) (147)も大幅増加。
- 医(医) (115)は、大幅増加で2年連続増加。志願倍率は3.3倍→3.8倍とアップしたが、第1段階選抜実施予告倍率約4倍には達しなかった。
- 医(保健) (72)は、大幅減少。専攻別でも3専攻が全て大幅減少で、特に(保健/看護) (67)の志願倍率は1.4倍の低倍率。
- 歯(94)は、前年度大幅減少の反動はなく、引続きさらに減少。
- 薬(77)は、大幅減少で系統への不人気から3年連続減少。学科別では、(創薬科学) (100)は前年度並だが、(薬) (69)は大幅減少。
- 農(83)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。

2020 年度入試状況分析【国公立大】

<後期日程>

- 文(75)は、3年連続でほぼ同数の志願者数だったが、大幅減少で4年ぶりに減少。志願倍率は8.2倍→6.1倍にダウン。7倍を下回ったのは2012年度以来。
- 法(114)は、2年連続大幅減少の反動で増加。
- 経済(73)は、系統への人気低下により大幅減少で、2年連続減少。
- 理(76)は、前年度増加の反動で大幅減少。学科別では、(数学)(218)は激増だが、他の4学科は減少、特に(地球科学)(43)、(生物)(48)、(化学)(75)の3学科は大幅減少。
- 工(68)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、4学科が全て減少で、(情報系)(89)を除く3学科は大幅減少、特に(電気通信系)(52)はほぼ半減。
- 環境理工(144)は、前年度減少の反動で大幅増加。学科別でも、2学科ともに大幅増加。
- 医(保健)(64)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。専攻別でも、3専攻全てが大幅減少。
- 歯(76)は、2年連続増加の反動で大幅減少。
- 薬(95)は、前年度大幅減少の反動はなくやや減少。学科別では、(創薬科学)(74)は2年連続大幅減少、薬(110)は前年度大幅減少の反動で増加と対照的な志願状況。